

安心できる介護サービスを

塩入 安倍政権は社会保険費削減のため、要支援1・2の介護サービスを介護保険給付サービスからはずし、町の総合事業に移行するが、町としてどう受けとめているか。

町長 現行と同じようにし、サービスを低下させない。また、町にあった総合事業にしていこう。

塩入 国は総合事業の予算は、介護給付サービス

町長 現行を低下させない。総額の3%以内上限を決めている。このようなしぼりの中で財源をどう確保するのか。しぼりをなくすために、国へ働きかける必要はないか。

福祉健康課長 これから考えることなので、必要に応じて国へ働きかける。

塩入 介護認定を受ける前に、要支援1・2に該当するような人が役場の窓口のチェックリストで締め出される心配はないか。

福祉健康課長 サービスを必要としている方の要望をしっかりと受けとめて対応していく。

塩入 包括支援センターのスタッフの強化はできないか。

町長 今のところ福祉健康課長が兼務しているが、今後、状況に応じて判断していく。

親しみやすい図書館へ

塩入 町民一人あたり、年間に借りる数は、平均4冊で少ない。



赤旗信州秋まつり 3000人がつどい



会場のやまびこドーム=10月12日

児童図書コーナーが豊敷きに

もって図書館を利用するための工夫はできないか。

教育文化課長 ロビーを工夫したり、畳のコーナーを作ったり、机や腰掛を配置して、居心地のよい図書館を目指している。

塩入 図書館から遠い所へは移動図書館ができないか。

教育文化課長 図書館が町の中心にあり、巡回バスもあるので利用されたい。福祉施設などに配置できるよう検討したい。

塩入 新刊図書が少ないのでもっと購入できないか。

教育文化課長 広域施設との連携をしているので、利用していただきたい。

今後、より一層町民生活に寄り添い、町民要望が叶う町政にするためにしっかりと活動してまいります。

土砂災害対策防止工事の状況は



大森議員 洞岩沢川砂防ダム工事の完成はいつか

建設課長 県の工事で30年度の予定

大森 最近の豪雨による土砂災害はどこで起きても不思議ではない。町の土砂災害警戒区域の指定箇所数と災害対策防止工事の状況は。

建設課長 すでに県の指定が終了しており、警戒区域が、土石流39、急傾斜地の崩壊40、合計79箇所、その内特別警戒区域が、土石流28、急傾斜地の崩壊29、合計57箇所である。防止工事は、洞岩沢川と名沢川について県

が24年度から防護堰堤の新設工事に着手し、洞岩沢川は、上流に大きな石は止めて水は流すストリットタイプの堰堤と下流側に土砂と水を止める一般的な堰堤の2基を整備計画で今年度工事用道路の工事に着手予定だ。名沢川はストリットタイプの堰堤1基を整備予定だ。

大森 洞岩沢川流域のみならずは、早い完成を願っているが、建設課長 30年度の完成予定であるが、まだ2件の用地買収が残っている。

来庁者への接遇について

大森 町民から「もう少しプライバシーに配慮してほしい」と要望を受けた。職員の接遇研修はどうなっているか。

町長 接遇研修は23年から実施。まだまだ道半ばであり今後も引き続き質の高い住民サービスをめざし研修を実施したい。

総務課長 来庁の目的や相談内容により状況に応じ、カウンタ―から離れたロビーや別室等での対応を心掛けている。

軽自動車税が大幅値上げ 来年4月から

区分	現行	改正後		
		新税額 ※1	重課税額 ※2	
四輪以上	乗用 自家用	7,200	10,800	12,900
	乗用 営業用	5,500	6,900	8,200
	貨物 自家用	4,000	5,000	6,000
	貨物 営業用	3,000	3,800	4,500
三輪	3,100	3,900	4,600	

区分	現行	改正後 ※3	
原動機付自転車 (主なもの)	50cc 以下	1,000	2,000
	50cc 超 90cc 以下	1,200	2,000
	90cc 超 125cc 以下	1,600	2,400
	ミニカー	2,500	3,700

※1、27年4月1日以降に新車登録（新規登録）から適用
 ※2、28年度課税より適用。新車登録（新規車検）から13年を経過したもの
 ※3、27年度課税より適用

税条例改正の 党議員団の判断の誤りについて

税条例改正の主なもの、軽自動車税の値上げと町民法人税の率の引き下げでした。裕福が乗る高級車には手を付けず、庶民の足である軽自動車やバイクに負担を押し付けることになりました。

また国は市町村間の財政力格差の是正のためとして、町民法人税の一部を国税化するため税率が14.5%から11.9%（2.6%減）に、県税も1.8%の引き下げとなります。そもそも町に入るべき町民法人税が国に横取りされることになりました。

今回の税条例の見直しについて党議員団が賛成してしまいました。結果、町民に負担を押し付けること、町の財政に影響をあたえること、なってしまうました。深く反省するところです。

今後、より一層町民生活に寄り添い、町民要望が叶う町政にするためにしっかりと活動してまいります。